

【別添1】

海外事務所 主な活動報告（令和7年11月）

《ワシントン州事務所》

JNTOロサンゼルス事務所が主催する旅行エージェント向け商談会Japan Showcase（ジャパン ショーケース）がテキサス州ヒューストン市で開催された。約40名の旅行エージェントが参加する中、当事務所は、「A Land of Timeless Heritage, Nature, and Flavor, Hyogo」と題してプレゼンテーションを行った。

旅行エージェントからは、城崎温泉や淡路島のポップカルチャー関連施設、ひょうごフィールドパビリオン関連では、刃物の製造体験や神戸ビーフ関連に関心が寄せられた。

ヒューストンとダラスから羽田・成田への直行便が就航しており、日本に対する関心も高まっているテキサス州はインバウンド誘致に向けた有望な市場といえることから、Japan Showcaseでつながりを持つことができた旅行会社との関係を構築し、今後とも兵庫の観光やひょうごフィールドパビリオンをPRしていきたい。

<JNTO主催 Japan Showcase in Houston>

- 日 程 2025（R7）年11月19日（水）
- 場 所 マリオット ホテル ウエスト ループ バイ ザ ガレリア（ヒューストン市内）
- 参 加 者 訪日旅行商品を取り扱う旅行エージェント 約40人



プレゼンテーションの様子

《パリ事務所》

英国における公的な日本文化発信拠点であるJapan House Londonにおいて、灘五郷酒造組合が「『灘五郷の酒造り』から読み解く日本のものづくり」と題し、3日間に渡り講演・実演・試飲を組み合わせたPRイベントを開催した。当事務所は、事前調整をはじめ、当日の現地での来賓やメディア対応など、イベントが円滑に実施できるよう支援した。

イベントにおいて、日本の「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録を機に、灘五郷が保存会を結成して受け継いできた職人や杜氏の技術・伝統を唯一無二のコンテンツとして発信した。

英国では日本酒への関心が高く、1日約100人の来場者枠は募集後すぐに満席となった。セミナーは専門性の高い内容であったが、独自の切り口からの解説に来場者は聴き入り、質疑応答も途切れなく続いた。

<ロンドンでの「酒造り文化」PR事業への支援>

- 日 程 2025（R7）年11月13日（木）～15日（土）
- 場 所 Japan House London（ロンドン市内）
- 参 加 者 延べ約300名



試飲会の様子

《香港経済交流事務所》

11月7日から10日にかけ、台北市で開催された台湾最大規模の旅行博覧会「2025 台北国際旅行博（ITF2025）」に、ひょうご観光本部と共同でブースを出展した。隣接する姫路観光コンベンションビューローとは間仕切りを設げず、一体的なデザインによる兵庫連携ブースとし、県内の多彩な観光資源を総合的に発信した。

ブースでは、県や各市町のパンフレットを配布しながら来場者へのPRを行い、台北一神戸間の国際チャーター便についてもPRを行った。来場者からは「観光客が少なく面白そうな場所」「2週間～1か月程度の長期滞在に適した場所」など、訪日経験が豊富な方の多い台湾ならではの質問が寄せられた。温泉やグルメに関する関心も高く、兵庫の多様な観光資源に対する関心の高さがうかがえた。国際チャーター便については、「直行便があるなら訪問しやすい」「関西空港経由より便利」といった反応があり、交通利便性を訴求することで兵庫観光の魅力を一層高めることができた。

今回の出展では、台湾市場を重要ターゲットと位置付ける県内観光連携機関が一体となって情報発信を行うことで、来場者への訴求力を高めることができた。今後とも、県内関係機関と連携し、兵庫のPRと誘客活動に努めていく。

<ITF2025への出展>

- 日 程 2025（R7）11月7日（金）～10日（月）
- 場 所 台北南港展覧館（台北市内）
- 出 展 数 約1,500社・団体（日本ゾーン110団体）
- 参 加 者 約36万5千人
(うち、兵庫県ブース来場者 約5千人)



兵庫県ブースの様子